

新年度に寄せて

所長 坂本 明大



平成25年度は、春を待ちきれない桜、桃、菜の花、ツツジまでもが競って咲く、花の饗宴で始まりました。小・中・高・特別支援の各学校では、人事異動後の新体制のもと、新入生を迎えて、着実に新陳代謝が行われ、新しい年度が晴れやかにスタートしたことと思います。

ここ、総合教育センターでも23名の新所員を迎え、新年度の業務が始まりました。4月12日の初任者研修開講式には、119名の若き教師が参加しました。大研修室を埋めつくすほどの人数ではなかったものの、会場は適度な緊張感の中、「学ぶ意欲」に満ち、演壇を見る真剣な視線に、私の挨拶にも思わず力が入ってしまいました。その後の、先輩教師による学級経営研修会では、「伝え、育てる意識」が大変印象的でした。各校種を代表する中堅教諭が、年度初めの多忙の中、丁寧な資料を準備してくれ、自らの経験に基づき、担任として悩み、苦しんだこと、担任として児童生徒と接することの楽しさ、素晴らしさを、時間いっぱい語ってくれました。ミドルリーダーの「真摯な思い」が、「育てる意識」と「学ぶ意欲」を通じて、初任者に直接手渡しされた様に感じました。

さて、社会に目を向けると、震災復興の遅滞、原発稼働の是非、雇用や年金に関わる問題等、素早く、確実な問題解決を図らなければならない深刻な課題が山積しています。一方、iPS細胞や東京スカイツリー、ロンドンオリンピックでの日本人の活躍等、日本人の努力に裏付けされた技術力の高さを実証する、明るい話題も決して少なくはありません。

教育においては、生きる力の育成、学力向上、キャリア教育の推進等の課題に加えて、いじめ問題がまだ出口を見出せない中、教師による児童生徒への体罰が大きくクローズアップされる等、子どもたち同士の関わり方、子どもたちと教師との関わり方について、これまでの理解や指導法だけでは対応が難しい状況も生まれています。しかし学校や個人等個々のレベルでは、明るく、元気を与えてくれるような成果や話題も必ず存在しているはずです。こんな時代だからこそ、私たち大人が、私たち教育に関わる者がしっかり現実と対峙し、未来を見つめて知恵を絞り合い、自信を持って子どもたちを導かなければなりません。

今年度、総合教育センターでは、学校の多忙化の低減、危機管理を念頭に置いた組織マネジメントの構築、学力向上の核となる具体的事例を内容とする言語活動の充実、ICTを活用した教材の利用、新たな悩みや生徒指導に対する相談体制の確立等を、研修や研究、情報発信の内容として重点的に取り上げて参ります。さらに、これらを学校現場で実践できる、具体性と有用性をもった内容に高め、学校で利用できるコンテンツとして作成し、明るい話題の一つとして提供していきたいと考えています。

運営の基本方針

(1) 教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育公務員特例法等の法規に則り、「やまなしの教育振興プラン」、「山梨県学校教育の指針」及び「山梨県学校教育指導重点」を踏まえ、関係機関との綿密な連携をはかりながら、本県の学校教育の振興と充実に寄与する。

(2) 組織の目標達成を目指し、職員活動目標の設定及び推進状況に応じた計画的かつ組織的な支援を通じて、効率的かつ円滑な組織運営を図る。



教育指導部

◇学校教育を支援する研修会を目指して

今年度も研修体系は、基本研修と専門研修で構成し、教職員の資質能力の向上等を目指しています。研修時における受講者アンケートの感想・意見や今日的な教育課題などを参考にして、研修会の新設・改廃に取り組み、平成25年度の研修会の内容等を決定しました。今年度は全部で141の研修会を実施します。

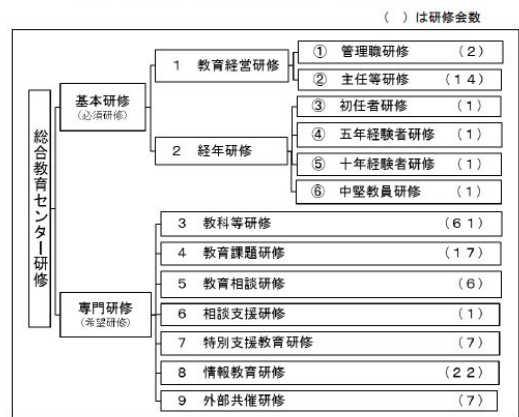
講師には、県内外の大学の先生、有識者、熱心に教育活動を実践されている現職教員など魅力あふれる方々を多数お願いしています。なかなかお話を

聞きすることができない講師もお願いしています。本センターHPから研修会の内容を閲覧できますので御活用ください。教育の専門家としての力量を高め、よりよい教育実践



のために、本センターで実施する研修会を多くの方に活用していただきたいと強く願っています。

平成25年度総合教育センター研修体系



国際化や情報通信技術の発展、社会全体の高学歴化など高度化し複雑化する社会状況の中では教育を取り巻く課題もまた山積しています。それに伴い学校に期待される役割や教職員に求められる資質能力も変わりつつあります。急速に進展し変化する社会に的確に対応するための教職員の資質能力の向上と意識改革を図り、児童生徒に「生きる力」を育み、学校教育の振興と充実に資するために、研修の重要性はますます増していると考えます。

教育指導部では、このような認識のもとに教育経営研修、経年研修、教科等研修、教育課題研修、教育相談研修、相談支援研修、特別支援教育研修、情報教育研修、外部共催研修等の研修会の企画・運営等を統括するとともに研修会の質の向上にさらに努めていきます。

研究開発部

学校の現状に即した今日的教育課題を把握し、課題解決のための調査・研究及び指導計画・指導方法の研究・開発を推進しています。また、研究の成果や時宜にかなった教育情報を学校に提供するとともに、本センターにおける各研修会にこれらを生かしていきます。

センター研究 (主事研究)

研究テーマ「学校教育を支援する実践的な研究」を掲げ、学校に研究成果をより具体的に還元すべく、研究推進をしていきます。

以下の9グループを編成して研究を進めていきます。

A 教育課題研究

- 1 防災教育
- 2 理数教育
- 3 言語活動

B 相談支援研究

- 1 教育相談
- 2 特別支援教育

C 情報教育研究

- 1 情報教育
- 2 ICTの活用
- 3 校務の情報化

D 教育課程実施状況調査

(社会・理科・英語)



研究の成果は、平成26年2月24日(月)の研究発表大会において報告するとともに、研究紀要(CD)を作成して各学校に配付します。なお、過年度の研究紀要については、ホームページで閲覧することができます。



教育課程実施状況調査

小・中学校の学習指導要領に基づく学習教育課程の実施状況について、本年度は小学校6年生の社会科・理科、中学校3年生の社会科・理科・英語科で行います。全県の約一割の学校にお願いして、結果を分析し、課題点を明らかにしながら、今後の学校における学習指導の改善に役立てることを目的として実施します。この調査報告はCDを作成し、各学校および教育委員会等に配付します。なお、2月の研究発表大会でも報告します。

センター研究 (留学生研究)

一般留学生による研究です。今年度は、3名の一般留学生が小学校国語と小学校音楽と高等学校英語で研究を進めています。この研究の成果は、2月の研究発表大会で報告します。



情報教育部

ICTを効果的に活用した「分かる授業」の実現と子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、教職員のICT活用能力及びICT活用指導力向上のための研修会を充実させるとともに、今日的な教育課題である教育の情報化について研究を行います。

また、教育用デジタルコンテンツを開発・収集・発信するとともに、ネットワーク、グループウェア、校務処理システム等の運用・管理の支援や相談業務等を行い、県内の教育の情報化を支援します。

◇学校の情報化推進を目指して

情報教育に関する研修会は、教員のICTを活用した効果的な授業の実践力を高め、総合的なICT活用能力やICT活用指導力を向上させるため、研修内容を改善し、研修や研究開発の充実を図ります。構成を検討し、次の5分類とし22講座を実施します。



1 喫緊の課題

テーマに関する情報提供や指導法について検討する研修

2 ICT活用基礎

ICT機器及び校務におけるICT活用の基礎知識を身に付ける研修

3 アプリケーション基礎

よく使用されるソフトの基本操作を身に付ける研修

4 アプリケーション応用

ソフトの高度な活用方法を身に付ける研修

5 専門的技術

ネットワークやシステムを管理するための技能を身に付ける研修

以前の研修会で実施しましたWordやExcel等、アプリケーションソフトの基本操作習得のための研修会については**出前研修**で対応しています。本センターホームページよりお申し込みください。

相談支援部



ホッちゃん

相談支援部は、今年度も研修・研究・相談を通して、学校と子どもたちの健やかな成長を支援していきます。また、教職員への支援の一環として、学校における校内研究会や学習会への講師派遣も実施しています。お気軽にご相談お問い合わせください。

ホウちゃん



《教育相談》 ☎055-263-3711 (いじめ・不登校ホットライン)

いじめ・不登校をはじめとする様々な教育問題に関して、児童生徒、保護者、教職員への支援として「電話相談」と「面接相談」を行っています。

○面接相談：平日午前9時～午後5時 ※事前に電話でご予約ください。

○電話相談：365日24時間いつでも受け付けています。

《特別支援教育》 ☎055-263-4606

お子さんの発達に関する相談はこちらへ・・・発達の遅れやその心配のある幼児児童生徒の保護者、教職員等に対して教育相談を行い、幼児児童生徒の調和的な発達が図られるように支援しています。

○面接相談：平日午前9時～午後5時 ※事前に電話でご予約ください。

○電話相談：平日午前9時～午後5時

○訪問相談：平日午前9時～午後5時 ※派遣依頼文が必要です。



《適応指導教室》 石和こすもす教室 ☎055-261-1271

葦崎こすもす教室 ☎0551-22-1133

都留こすもす教室 ☎0554-45-1161

こすもす教室は・・・学校・家庭との連携のもと、不登校児童生徒の集団生活への適応や学習の補充等について自立心を養うことを目的に支援を行っています。

コンテンツデータベースの紹介



当センターでは、これまでに収集、蓄積した学校教育に関する資料・教材(コンテンツ)を整理し、Webページ「コンテンツデータベース」を通して学校等に提供することで教育の一層の充実を図っています。「学習指導案」「小学校デジタル教材」「授業素材」(小中高特)等、授業に役立つコンテンツが数多くあります。ぜひご利用ください!

センターホームページ<http://www.ypec.ed.jp/>



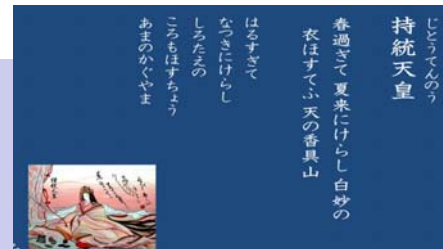
「カテゴリ」 「トップ画面」 <http://cdb.kai.ed.jp/search.php?>



利用の手順

- 1 総合教育センターのトップページ右側「コンテンツデータベース」の「カテゴリ」をクリックします。
 - 2 「コンテンツカテゴリ一覧表示」のページに移動します。必要なカテゴリを選択します。
 - 3 選択したカテゴリ内のコンテンツが一覧表示されます。必要なコンテンツのタイトルをクリックしてください。
 - 4 「コンテンツ詳細情報」のページに移動します。「概要」や「対象年齢」等をご確認いただき、必要なコンテンツをダウンロードをしてください。
 - 5 登録ファイルをクリック(右クリック→対象をファイルに保存)することでダウンロードができます。
- ※ 「検索」からは、キーワードによる検索もできます。

百人一首.pptx, 40.08 MB
 ファイル種別: PowerPoint 2.0.0.7以降の
 登録日時: 2013/03/12 17:43:32 更新日時



▲百人一首スライド(読み上げも行う)

平成25年度 特別研修会のお知らせ

「カリキュラムという発想による学習指導の改善」
 ～学ぶ意欲を高めるための工夫～

講師

筑波大学人間系教授 大学院教育研究科長 田中 統治 氏

日時: 平成25年6月18日(火)

(受付) 13:20 ~

会場: 山梨県総合教育センター大研修室

編集発行 山梨県総合教育センター
 山梨県笛吹市御坂町成田 1456
 電話 055-262-5571(代)
 Fax 055-262-5572
 発行責任者 所長 坂本 明大
 発行日 平成25年5月17日

